

自己点検・評価シート

学校法人フジ学園

実施日： 令和7年3月24日

責任者： 校長 赤嶺 剛

令和6年3月24日（月）、校長、事務局長および外部評価委員2名による自己点検・評価を実施した。

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 教育理念・目的等			評価
1	1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	5
2	1-2	教育理念が学生に提示され周知されているか	5
3	1-3	学校の将来構想を抱いているか	5
4	1-4	理念に基づく教育が行われているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

産学融合の精神を生かし、自主性・創造性を養い、知識・技能を高め、礼儀を重んじる教育の推進に努めることが重要である。教育理念は各教室に掲示し周知をしている。

<課題>

社会のニーズの変化や、将来を想定した理念・目的、およびグローバル社会への対応力を深める取り組みを、継続して行う。

2. 学校運営			評価
5	2-1	運営方針は定められているか	5
6	2-2	事業計画は定められているか	5
7	2-3	運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5
8	2-4	人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
9	2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5
10	2-6	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	4
11	2-7	危機管理体制、コンプライアンス体制は整備されているか	4
12	2-8	情報公開が適切にされているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

各努力目標を明確にし、理事会等との連携を深め、効率的・円滑な学校運営ができるように意思疎通を図っている。導入した情報システムでは学生総合管理システムとしてDX化し活用している。外部委員による客観的評価と、学校webによる情報公開を継続して行っている。

<課題>

事業計画の見直しや、バランスよく環境整備等へ予算配置が必要。継続して学生への負の影響がでないよう、継続し取り組む。

3. 教育活動			評価
13	3-1	カリキュラムは教育理念にそって体系的に編成されているか	5
14	3-2	授業評価や進級、修了の判定実施・評価体制は明確であるか	5
15	3-3	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
16	3-4	成績評価は適切に行われているか	5
17	3-5	資格取得等について計画的にカリキュラム策定や指導体制が確立されているか	4
18	3-6	キャリア教育に関する指導体制は整っているか	5
19	3-7	教員の育成計画は十分か	5
20	3-8	専門分野の知識習得や指導力向上のため、研修等への取り組みはされているか	4
21	3-9	非常勤講師との指導力連携や、報告体制は十分であるか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

今年度もグローバル化した社会・時代の変化に対応できる特色あるカリキュラムの編成・組織・体制づくりを強化する。職員研修も積極的に活用を図る。遠隔授業は適宜活用し、バランスよく教育カリキュラムに反映できた。

<課題>

副教材や学習支援システム等も活用し、継続して学生の目標資格の取得支援や指導を行う。

4. 学修成果			評価
22	4-1	就職指導は十分におこなわれ、進路について適切に把握しているか	5
23	4-2	資格取得について目標を立て実践されているか	4
24	4-3	退学者や不登校者に対する取り組みがされているか	4
25	4-4	パンフレットやホームページ等で就職実績を公表しているか	5
26	4-5	就職率に目標を設定しているか。	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

- ・各種検定等の養成・促進を図り、各学年終了するまでに指定の検定に合格できるように努める。
- ・個々の学生の学習活動を保証し、中途退学者をなくするように開発的・予防的なカウンセリング活動行い、事前防止に努める。
- ・令和6年度も100%近い就職率を達成できた。

<課題>

必須な資格検定について、社会のニーズと学生への取り組み状況をタイムリーに検証し、毎年反映させることが必要である。また留学生の就職支援強化も継続して取り組む。

5. 学生支援			評価
27	5-1	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
28	5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4
29	5-3	学生の心身の健康管理・事故・怪我に対する支援体制があり、有効に機能しているか	5
30	5-4	学生の生活環境（学生寮含む）への支援は行われているか	5

31	5-5	防災や緊急時における体制が整備され、有効に機能しているか	4
32	5-6	卒業生への支援体制はあるか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

留学生も含めて進路・就職指導を充実させている。また、学生寮もあるので、常時緊急時を想定し連絡網を整えている。卒業生とも連携を取りながら、進学や就職指導の充実を図っている。

<課題>

継続して卒業生の状況調査（就職先、在職状況等）の把握と情報を収集する。

6. 教育環境			評価
33	6-1	学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	5
34	6-2	学校で使用する教材は適切か	5
35	6-3	学習効率を図るための環境整備がなされているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

引き続き細かい設備の点検、必要な施設環境・設備について補修や購入を行っている。令和7年度は校舎の外壁塗装等の予算を確保し、改修の計画を予定している。

<課題>

継続して劣化に伴う設備や、衛生環境の充実に取り組む。

7. 入学者の募集			評価
36	7-1	学生の受入方針は定められているか	5
37	7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	5
38	7-3	学生募集活動において、学校情報は正確に伝えられているか	5
39	7-4	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	5
40	7-5	適正な定員設定及び在籍者数になっているか	4
41	7-6	授業料は適切か	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

対面を中心に説明会を実施し、継続して学校情報や入学選考に係る情報を、特に高等学校の進路部や進路担当の教職員に丁寧に説明し伝えている。県外への募集活動や、や遠隔による説明会の実施や、さらに個別説明の機会も多く取り入れた。

<課題>

募集活動を適正に継続して積極的に学校情報伝えること。

8. 財務			評価
42	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
43	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
44	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	5
45	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

引き続き財務基盤の安定、有効な予算・収支計画に努める。学生の就学環境や教員・職員の就労環境の整備にも継続して努めている。

<課題>

9. 法令遵守			評価
46	9-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか（留学生）	5
47	9-2	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
48	9-3	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
49	9-4	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
50	9-5	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5
51	9-6	自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
52	9-7	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

留学生については在留資格等を含め、入国管理局の指導のもと、適切に管理・指導を行っている。また、学生の個人情報も、システム上や紙資料も継続して適切に管理することに努めている。

<課題>

継続して外部人材による点検・評価を継続して行い、法令、設置基準に沿った運営に努める。

10. 地域貢献・社会貢献			評価
53	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
54	10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

学校周辺を含めた清掃活動等を継続し、地域の活動への参加と、積極的な社会貢献活動を行えた。
学園祭では、グループ校と一緒に地域への交流を含めて実施することができた。

<課題>

社会貢献活動を行う際の、職員を含めたリソース配分が課題

11. 組織について

評価

55	11-1	設置者、経営担当者は定められた要件に適合しているか	5
56	11-2	日本語学校の規模に応じた組織となっているか（日本語コース）	5
57	11-3	教員組織について、校長、教務主任及び教職員の職務内容と責任は明確であるか	4
58	11-4	教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質は明示されているか	4
59	11-5	事務組織について生活指導責任者、入管事務担当者が定められ責任が明確であるか（留学生を含む）	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

引き続き教員組織、事務組織ともに職務内容の精度と効率を上げ、教育目標の達成への不断の努力を継続している。
各専門分野における教職員の知識や能力の向上に努め、各教員・職員の職務内容と責任の明確化も継続して取り組んでいる。

<課題>

12. 安全管理・危機管理について

評価

60	12-1	健康・衛生面について指導體制が整っている	5
61	12-2	学生全員が国民健康保険に加入し、留学生保険にも加入しているか（留学生）	5
62	12-3	学生が重篤な疾病や障害にあった場合の対応方法を準備している。	5
63	12-4	感染症発生時の対応方法を整えている	5
64	12-5	火災、地震、台風や気象警報等の災害時の対処方法を定めている。	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

火災や災害に備えた緊急体制を整え、点検・確認を継続してきた。留学生も含めて、事故や病院加療、入院等の情報が、学校教職員が連携して把握できる体制が維持されている。消防訓練も令和6年12月に実施。

<課題>

13. 成績・進級・卒業判定について			評価
65	13-1	成績の判定基準が明確に定められている	5
66	13-2	成績の判定基準を学生に明示している	5
67	13-3	進級および卒業判定が適切におこなわれているか	5
68	13-4	留学試験、日本語能力試験等の結果を把握しているか（留学生）	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

継続して成績の判定基準は、入学式のオリエンテーションをはじめ父母面談等でも適宜説明がなされている。進級および卒業判定についても、3者面談等をとおして丁寧に説明をしたうえで適切におこなわれている。

<課題>

14. 納付金について			評価
69	14-1	入学検定料、入学金、授業料等の納付金について金額・納付時期を明示している	5
70	14-2	学費以外の必要となる経費を明示している	5
71	14-3	学費返還については、関係法令等に基づいて規定され明示している	5
72	14-4	上記の項目について、学生の理解できる言語で説明および情報を提供している	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

募集要項により入学検定料、入学金、授業料の額および納付次期の明記を確認している。学費以外のテキスト・教材費および諸検定費等についても明記している。学費返還については、関係法令等に基づき、更に丁寧に募集要項へ明記しかつオリエンテーションでの説明にも取り組んでいる。

<課題>

引き続き留学生については多国籍化しているので、学生の母国語での募集要項の整備や、細かい明示と説明を行っていくこと。